

# デザインソフトの活用、生産設備の革新で 受注増を狙う後継者の挑戦

## 課題

### 生産性の向上のため 新設備を導入したい

昭和25年の創業以来、親子4代にわたってこの地で襖や障子、オーダーメイドの建付け家具などの建具の製造を続ける有限会社辻木工。長年培ってきた知識・経験・技術は、顧客から厚い信頼を受け、顧客の90%を占める地元工務店とハウスメーカーから安定的な受注を確保している。

近年は、同社の持ち前の知識・経験・技術に加えて、新たな強みが加わった。後継者となる4代目は、グラフィックデザインソフト・イラストレーターの卓越したスキルをもつ。マシン制御で型を抜くNCルーターと連携させ、従来の加工機ではできない立体的で複雑、精巧なデザイン性の高いオリジナル建具をつくることが可能になったのだ。

しかし、現在使用している圧着機では合板を接着させる工程に時間がかかり、生産性に影響が出ていたため、新たな接着機の導入を検討し、その方策を斐川町商工会に相談した。

## 支援

### 新たな設備投資で 受注を創出

商工会では、スケジュール、行動計画、機器導入後の効果、売り上げ計画など、さまざまな検証を行い、後継者が中心となって進める経営革新計画の作成をサポート。日本政策金融銀行から低利融資を受けて希望通り高周波フラッシュ接着機を導入した。

新設備の導入で、これまで5時間かかっていた合板作成工程がわずか2分に短縮でき、大きな生産性向上を実現。また、これまでの方法では合板に反りが発生し、納品後にメンテナンスが必要となるケースがあったが、新しい接着機ではほとんど反りが出なくなったことで品質が向上。メンテナンスにかかる経費の削減にもつながった。失注していたオーダーも受注できるようになり、新たな受注件数も増加した。

だが、受注が増えるとともに新たな課題がもち上がってきた。受注増加にともない、建具カットと縁張り工程の作業が追いつかなくなったのだ。このため新たな設備の導入が必要となったが、接着機を導入したときに設備投資の効果は実証済みだったので、導入についての躊躇はなかった。前回の経験で事業計画の重要性を理解していたため、導入にあたっての経営革新計画、経営力向上計画の策定もスムーズに進み、



ものづくり補助金で導入した縁張り機

スライドソーと縁張り機を導入した。

新たな販路は商工会ネットワークだけでなく地元金融機関とも連携し、営業先のマッチングをサポート。展示会などへの出展にも乗り出し、近隣のみならず県外からも順調に受注を増やし、経営革新計画取得前の平成27年と比べて平成29年には売り上げ25%増を達成した。

平成29年には松江に合同ショールームを開設するなどして、今後は収益性の高いオーダーメイド家具の受注増加を目指していく。

## 支援の経過

期間	支援内容
H25年7月	ヒアリング、経営革新計画の申請支援
H26年8月	ものづくり補助金の申請支援
H27年5月	事業計画に基づく設備導入・販路開拓支援
H28年3～7月	経営革新計画、経営力向上計画、ものづくり補助金の申請支援
11月	事業計画に基づく設備導入支援

## 会社概要

会社名：有限会社辻木工  
住所：島根県出雲市斐川町坂田1631  
電話番号：0853-62-4541  
URL：<http://tsujimokkou.com/>  
代表者名：代表取締役 辻ノ内勝  
創業年：昭和25年  
年間売上高：1億1950万円  
従業員数：9名  
商工会名・担当者名：斐川町商工会・金山英生